



もったいない

新居浜環境カウンセラー等交流会

第 11 号

2016年8月

生ごみコンポスト・一口メモ(No.1)ウジ発生について

気温が高くなると、食べ物が腐りやすくなり、段ボールコンポストの基材の中でもウジ虫が発生しやすくなります。ウジが湧くのは、ハエが生ゴミに卵を産み付けるから、と考えがちですが、そうでもなさそうです。

夏季に写真のようなポリ容器に生ごみを入れてフタをして数日置くと容器の中で生ごみが腐ってウジが湧きます(ハエは入れないのですが)。このことから考えると、ウジ発生の原因は容器の外ではなく中にありそうです。基材の中で生ごみが腐らない(ウジが湧かない)にするには、スコップではなくて(菜箸)を使って、(全体ではなくて)生ごみを入れた領域で、(毎日)生ごみの粒をバラバラにほぐすようにかき混ぜます。



それでもウジが発生したら、

①ウジを見るのも嫌な方は、ウジが発生した基材をそっくり土に還して、新しい基材と取り換える。

②毎日基材をかき混ぜていけば自然に消滅する(1~2週間かかる。羽化しない。)生ごみの投入を止めると時間が短くなる。

③強引に殺すには、段ボールの中の基材を取り出してポリ袋に入れ、空気が入らないように口を縛って、太陽にさらす(40度以上に上げる)。高温と酸素不足でウジは死滅する。殺虫剤を吹きかけても基材の内部のウジには効かない。

★ウジは何も害をしない。自然界で腐ったものを処理する掃除屋さん。タンパク質の生ゴミと思えばよい。困ったときはあきらめないで、ご連絡ください。

(真鍋 41-4345)

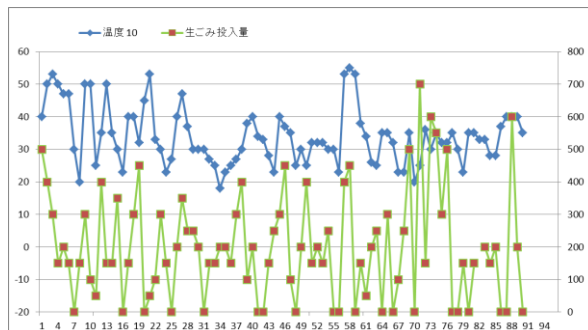
段ボールコンポストを利用してみたら・・・

以前の仕事の関連で、新居浜市のごみ処理費削減には、水分の多い生ごみを削減することが重要で、市が生ごみ減量化に取り組んでいることは知識として知っていましたが、私自身は、具体的な取り組みは何もしていませんでした。今年2月に近所の自治会館で『段ボールコンポスト』の講習会があると知り、これはチャンスと参加しました。講習では、好気性の微生物による処理であること、このため嫌気性の処理の様な臭いやウジ虫発生の問題がないきれいな処理であることを学びました。早速、2月の一番寒い時期からのスタートとなり、20℃の環境で一度は活性化処理が必要でしたので台所に一晚おきましたら一日後には40℃に上昇し生ごみ処理を始めました。

処理のポイントは野菜くずを細かく切ること、必ず空気との接触をスムーズにするため微生物の塊を崩してよくかき混ぜることでした。毎日生ごみ投入量と温度を記録しグラフ化してどうすれば高活性を維持できるのか学ぶことにしました。

どんどん台所の水切り籠から生ごみが消え始めると、やっと女房も関心を持つようになり、{なぜ、毎日生ごみを掘りこむのにコンポストから生ごみがあふれてこないの}と不思議がりましたので、人間の腸内フローラと同じ様に炭酸ガスと水に分解されていることを説明したこともありました。そのころからは、処理を手伝ってくれるようになり、コンポストに手を入れて塊を砕いてくれるほどでした。手を入れられるくらい段ボールコンポストはきれいな処理なのです。取り組み始めて一ヶ月ほど経った頃、保健所主催のぶらりウォークに参加したところ、たまたま講師の真鍋先生にお会いでき、いろいろと相談できました。乾きすぎたら水を少し振り掛けることも教えていただき再活性化に成功しました。また、途中からフードプロセッサーで野菜くずを細かくする方法に切り替えたところ効果てき面で、さらに活性化しました。こうして3ヶ月が経ち17Kgもの生ごみが処理できたので、堆肥化することにし、真鍋先生から、堆肥化の方法、施肥の方法を教わり、我が家の小さな菜園に施しました。

おかげさまで ナスやキュウリ、トマトがすくすく成長し、とても甘い野菜が収穫期を迎えています。このとりくみを継続するためごみ減量課で、基材を購入して、第二弾のコンポスト処理に取り組んでいます。皆様、段ボールコンポストおすすめですよ。



現役引退したばかりの老人初心者より

段ボールコンポスト事始め

段ボールコンポストを始めて半年になります。以前住んでいた千葉で生ごみ処理機をしばらく使っていたのですが、上手く使いこなせず断念した経験がありますが、今回は楽しく取り組んでいます。

何気なく近くの公民館の講習会に参加したことが切掛けです。参加者約30人が熱心に受講していましたが、何より説明者の皆さんの熱意に動かされた感じで始めました。いざ始めてみると、これが思ったより面白くて、今では毎日の日課になっています。当初寒い時期だったこともあり、なかなか温度が上がらず心配しましたが、今ではコンスタントに40～60度になるので毎朝、温度計を見るのが楽しみです。

まだ半年の経験ですが、①カロリーの高い比較的やわらかいものを投入すること、②それが少ない時は米ぬかを混ぜること、③毎日スコップでよく描き混ぜることなどが効果的のようです。また週に一回程度、ビニール手袋をつけて手で塊をつぶしてやると全体が上手く分解するようです。その時の手の温もりが、えも言われぬ気持ち良い感触です。据置型のコンポストを併用しており、硬くてカロリーが低い食材は、こちらに投入して時間をかけて分解するようにしています。今ではコンポストの中の微生物は、愛犬、金魚と並ぶ我が家の可愛いペットのような存在で「段ボールのバクちゃん(バクテリア)」と呼んでいます。4月に堆肥をプランターに移して、野菜の苗を植えました。栽培は全く経験がないので5月から「家庭菜園教室」に参加して、ゴミの減量と堆肥による有機野菜作りの一石二鳥を目指しているところです。

追記: 初心者ですが、今年から普及活動のお手伝いに参加しています。どこかでお会いする機会があると思いますが、その時は宜しくお願いします。

(原 恭介)



アメリカゴミ事情

今年の5月26日から6月2日の約1週間アメリカに旅行してきましたが、その間にアメリカでのごみ事情で感じたことは、2050年までに”2度c以内”の温暖化目標はできるのか非常に疑問を感じました。ニューヨークの町では廃棄ゴミとリサイクルゴミの2つで仕分けされていましたが、写真に示すように実際はプラスチック、紙、ペットボトル、生ごみ、飲み残しの液体等を関係なく捨てていました。中国も似たようなゴミ事情ですので、一番エネルギーを消化しているこの2国がこれでは危ない！特にアメリカは消費をベースに経済が成り立っているのに、国民はまだまだ温暖化の意識が低いと感じました。しかしながらグランドキャニオン国立公園では、ゴミを残さない活動をして、成果が上がっている場所もあるのでこれからを期待しましょう！

(加藤 忠一)



活動のご案内

定例会 毎月第一月曜日午後1時半

新居浜市まちづくり協働オフィスにて

活動内容 環境講演会年数回開催 市の環境関係審議会、委員会等の委員
会員による出前講座など

会員募集♥ 一緒に環境について学習を深め活動しませんか？

主な研究テーマ ダンボールコンポストによる生ごみ堆肥化

問い合わせ 090-5145-5349(河合) 0897-41-4345 (真鍋) mmmanabe@mt-ishi.com